

の 飲み込み について



こんな症状
ありませんか？

- ☑ 食べ物や薬が喉に引っかかる
- ☑ 食事中でなくても突然むせる、咳き込む
- ☑ 食事中によくむせる

えん げ しょう がい

嚥下障害について

神経難病の一部では、喉や舌の力が弱くことで飲み込みに影響が出ることがあります。舌の力が弱くなると、食べ物を喉の奥に送り込むことが難しくなり、食事に時間がかかったり、食べられる食事の形態に制限がでてきたりします。また喉の力が弱ると、食べ物が喉につかえたり、気管に入ってしまうことがあります。これらの症状が進むと、食事をとることが難しい、もしくは口からの食事だけでは栄養が不足し、体力の低下や病気の進行に関わります。そのため、口以外から栄養をとる方法を検討する必要があります。

嚥下障害による 合併症

● 誤嚥性肺炎

食べ物や飲み物、唾液などが気管や肺に入って炎症を起こす病気です。食事中のむせや汚い痰、咳などで気づかれます。時には、何度も繰り返したり、命に関わるほど悪化したりすることがあります。



● 体重減少

食事が減ることや、病気の影響で体に必要なエネルギー量が増えることで起こります。体重減少は筋肉量の低下や転倒のリスクとなります。またALS患者においては、発症前や後に体重減少幅が大きいほど疾患の進行が速かったという報告があります。

